

要 望 書

令和 2 年 6 月 23 日

## 新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望について

令和元年12月に中華人民共和国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は、世界各地に拡散しながら猛威を振るい、令和2年3月11日には世界保健機構がパンデミック宣言をいたしました。

国内では、首都圏、関西圏、北九州地域とともに、北海道でも各地で感染者拡大や介護施設、医療機関などで集団感染が確認されています。

国は4月7日に「緊急事態宣言」を発出し、5月25日には終了を宣言したものの、第二波、第三波の到来に備え、「新しい生活様式」を始めとする感染拡大防止とともに、経済再生を図りながら国民の新型コロナウイルスとの長い戦いに向け、基本的対処方針を発表しています。

北海道のゴルフ場は、冬季間を除く8か月が稼働期間という短いシーズンが始まるなか、国内外の人の往来自粛、インバウンド客の九割を超える減少などで、4月以降の利用者は激減の一途を辿っています。

一方、施設を維持・管理、整備をするための固定費は変わらず、ゴルフ場の存続に関して危機感を抱くとともに、雇用する従業員の働く場所を維持することさえも際どい状態となっています。

北海道の主要戦略である「食と観光」における重要な観光資源であり、レジャーやビジネスを含めた多くの誘客に寄与する産業として、事業継続の可能性に関しても強い危機感を抱いています。

今後も、市民とともに感染拡大のための戦いを継続しながらも、苫小牧市における一大産業と考えられるゴルフ場の経営は、少しずつ限界が近づいて来ているものと認識しています。

つきましては、この危機に直面する市内の10ゴルフ場は、下記の事項について、早急に措置いただきますよう強く要望いたします。

### 記

- 1 上下水道料の減免措置  
固定費の多くを占める上下水道料の減免措置
- 2 固定資産税の減免・猶予  
収入の多くを失うなかで、経営資源である大規模な設備投資を伴う装置産業としての固定資産税の減免・猶予の措置
- 3 経済対策の継続と強化  
感染対策を含む事業継続に向けた対策の切れ目ない継続と強化

苫小牧市長

岩 倉 博 文 様

千歳空港カントリークラブ

支配人 高 橋 雅

樹

北海道リバーヒルゴルフ倶楽部

支配人 対 馬 五

龍

エミナゴルフクラブ

支配人 岡 本 伸

司

桂ゴルフ倶楽部

支配人 金 瀬 匡 治

治

北海道ブルックスカントリークラブ

支配人 井 狩 賢 人

人

ニドムクラシックコース

支配人 伊 藤 憲 一 郎

郎

北海道ゴルフ倶楽部

支配人 石 塚 健 司

司

樽前カントリークラブ

支配人 富 塚 智

智

北海道ドリームカントリークラブ

支配人 若 狭 祥

祥

御前水ゴルフ倶楽部

支配人 前 田 悟 志

志